

田坂広志の「深き思索、静かな気づき」

可能性開花の究極の技法

驚

異的天才と知的障害者の二つの人生を
往復した人間の悲哀を描いた、SF小説
の名作『アルジャーノンに花束を』。

その著者ダニエル・キイスに、もう一つの名作『24
人のビリー・ミリガン』がある。

これは、精神科医によって24の多重人格を持つと
診断された実在の人物、ビリー・ミリガンについて
書かれたノンフィクションであるが、この多重人格は、
一般に、精神の病であり、我々の精神活動にとって、
悪しきことであると思われる。

それを象徴するのが、人を批判するときに使われる
「あの人は二重人格だ」といった言葉であるが、しか
し、実は、我々は誰もが、自分の中に幾つもの人格
を持っており、無意識に、そして当たり前のように、
それらを使い分けている。

例えば、会社では辣腕のマネジャーでありながら、
自宅では子煩悩の優しい父親、高校の同窓会に行け
ば冗談好きの楽しい仲間といった人格が現れるとい
うことは、決して珍しくない。

筆者自身も、仕事においては、場面に応じ、専門
家的人格とビジネス的人格を使い分け、リーダー的
人格と参謀的人格も使い分けている。また、講演で
も、講義調、講話調、講談調、漫談調など、色々
な人格での語りを使い分けているが、読者の中にも、
仕事と生活の様々な場面で、そうした人格の使い分
けを行っている人は、決して少なくないだろう。

それにもかかわらず、自己の内に「様々な人格」
を持つことが精神的な病であるとされるのは、ビリー
のように、ある人格になったとき他の人格が行ったこ
とを自覚しておらず、その無自覚の人格が異常な行
動に走ったり、罪を犯したりするからである。

その状態に陥らなければ、むしろ、自分の中に「様
々な人格」を持っていることは、我々の中から「様々
な才能」が開花する可能性に繋がっている。

なぜなら、実は、「才能」と「人格」は、深く結
びついているからである。

例えば、世の中では、しばしば、「彼は、性格的に、
この仕事に向いていない」という言葉が語られるが、
この言葉は、職業人としての才能が開花するか否か

は、その人物の性格や人格が大きな要素になるとの
認識を示している。

一方、「彼女も、この仕事のプロらしくなってきた」
といった言葉が語られるように、我々は、新たな性格
や人格を、後天的な努力で自分の中に育てていくこ
とができる。

従って、我々が、営業職ならば「社交的な人格」、
企画職ならば「創造的な人格」、経理職ならば「几
帳面な人格」など、その職業において求められる人
格を意識的に育てていくならば、職業人としての才
能を大きく開花させていくことができる。

では、どうすれば、必要な職業人格を身につけて
いくことができるのか。

その一つの技法が、優れた師匠を見つけ、その師
匠から人格を学ぶことである。それゆえ、師匠から
懸命に学んでいる弟子は、しばしば、「彼は、雰囲気
が師匠に似てきた」と評されることがある。

こうした技法を具体的に語ったのが、拙著『人は、
誰もが「多重人格」』であるが、実は、この著書で
は深く語っていない、極めて大切なことがある。

それは、自分の中に幾つもの人格を育て、それら
を場面に応じて使い分ける努力を続けていると、自
然に、それら複数の人格を俯瞰的に見つめ、必要な
とき、必要な人格を前に出す統合的・超越的な人格、
すなわち「賢明なもう一人の自分」と呼ぶべき人格
が生まれてくるのである。

そして、この統合的・超越的な人格が心の中に生
まれてくると、三つの意味で、我々の才能と能力は、
さらに大きく開花していく。

第一は、この「賢明なもう一人の自分」が現れて
くると、自分の心の中の「エゴ」の動きを静かに見
つめることができるようになるため、あまりエゴや感情
に流されることがなくなり、自然に、对人的能力が高
まり、人間関係が好転していく。

第二に、その結果、エゴや感情に振り回されない
静寂な心の状態が生まれてくるため、難しい問題に
処するときの「直観力」が鋭くなっていく。

そして、第三に、その直観力が鋭くなると、人生
の様々な岐路において、選択を過たず、「運氣」を
引き寄せる力が高まっていく。

すなわち、自分の中に様々な人格を育てることは、
こうした高度な能力を覚醒させることを通じて、自分
の中に眠る「想像を超えた可能性」を開花させていく、
究極の技法に他ならない。①



Hiroshi
Tasaka

田坂広志◎東京大学卒業。工学
博士。米国バテル記念研究所研
究員、日本総合研究所取締役を
経て、現在、多摩大学大学院名誉
教授。世界経済フォーラム（ダ
ボス会議）Global Agenda Council
元メンバー。全国6,300名の経営
者やリーダーが集う田坂塾・塾長。
著書は『運氣を磨く』『直観を磨く』
『知性を磨く』など90冊余。